

普及活動情勢報告（平成 31 年 2 月分）

中央東農業振興センター農業改良普及課

出荷最盛期に向けて！トルコギキョウ目慣らし会・現地検討会を開催しました！



JA高知県香美地区トルコギキョウ部会は、1月17日に目慣らし会、現地検討会を開催し、延べ27名が参加しました。

農業改良普及課からは、12月の曇雨天と高夜温で発生したブラシングの軽減方法や生育調査の途中経過について情報提供しました。生産者からは「天候に応じた温度管理ができるようにしたい」「炭酸ガス施用で発生が少なかった」などの声が聞かれました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携して生産性や品質向上の取組を支援していきます。

かりかり桃せん定講習会を開催しました！



1月25日、JA高知県香美地区かりかり桃研究会は、香美市香北町でせん定講習会を開催し、生産者9名が参加しました。

香北町特産でかりかりとした食感が人気のかりかり桃は、高齢化等により年々生産量が減少していました。しかし、今年は新規栽培者が大幅に増加したことから、若木の樹形形成について、農業改良普及課がせん定の実演を行いました。

生産者からは、「この枝はどう処理する？」等、活発な質問がされ、若木のせん定について理解が深まりました。

農業改良普及課は今後も、関係機関と連携し、かりかり桃の生産拡大に向けた支援を行います。

農業経営者の発展を伴走支援～経営改善や規模拡大を視野に～



2月12日、経営発展志向農家2名に対する伴走支援の一環として税理士を交えた個別相談を行いました。

過去3ヶ年の経営収支をもとに現状確認後、将来ビジョン等について協議を行いました。税理士からは「経営状況は良好。販売規模からは法人化してもいいのではないか」「まず現状の改善を優先すべき」など助言がありました。生産者は「中長期的な構想はあるので、現在は手持ち資金を充実させたい」と回答するなど、助言に対する今後の構想を踏まえた経営発展について議論できました。

農業改良普及課は、今後、栽培状況の再確認を行いながら、改善できる作業等を踏まえた経費シミュレーションを示すなど経営発展志向農家への支援を続けます。

～園芸野菜を美味しく食べよう～ 農業高校生への園芸野菜料理講習会の開催



2月12日、JA高知県土長地区(南国市)の園芸女性部は、園芸野菜の消費拡大を図る目的で、次代を担う高知農業高校2年生を対象に園芸野菜料理の講習会を行いました。農業改良普及課は、JA事務局と連携し、運営についての打ち合わせや準備等の支援を行いました。

メニューは、ニラのチヂミやししとうのベーコン巻き等、南国市の園芸野菜を使った6品で、高校生達は園芸女性部員に調理のコツ等を聞きながら作業を進めていました。

農業改良普及課は、園芸女性部の地域産物の良さや調理方法等を伝達できるリーダー育成の取り組みを、今後もJA事務局と連携しながら支援していきます。

ハウスミカンIPM実証ほ調査を開始しました！



2月6日、香南市香我美町のハウスミカンのIPM実証ほにおいて、農業改良普及課及び農業技術センター等のプロジェクトチーム員がハダニの天敵であるスワルスキーカブリダニの放飼及び調査を行いました。

前作の実証試験では、産地で初めて天敵によるミカンハダニ防除に成功しました。今作では技術の高度化及び安定化を目指し、新たな天敵保護資材を加えた実証試験を行います。

今回調査した実証農家は天敵への関心が非常に高く、一緒に調査を行い、天敵の見分け方を学びました。

農業改良普及課では、実証農家や関係機関と協力し、現場での技術の確立と普及を目指します。

先輩ニラ農家から学ぶ！



1月25日、若手ニラ農家らで組織するJA高知県香美地区ニラ部会グリーンカレッジが開催され、生産者6名と研修生2名が参加しました。農業改良普及課とJAは、生産者の要望を基に、今回は先輩農家から直接、栽培管理や経営のポイントを学ぶ形の勉強会としました。参加者からは、「かん水のタイミングは？」など、栽培管理や防除方法に関する質問が多く出され、自身の栽培管理と照らし合わせながら学びを深めていました。

農業改良普及課は、今後も若手生産者の収量向上・経営安定に向けた支援を継続していきます。